

▶近刊

安達峰一郎 [著] 柳原正治 [編]

2019年
5月下旬
刊行予定

萬邦の平和を期して (仮)

安達峰一郎著作選

世界を舞台に華々しく活躍した国際人・安達峰一郎(1869-1934)の著作集。学術論文や随筆に加え、外交官時代の調書や報告書、捕獲審検所評定官としての調査書や判決、国際連盟総会・理事会参加時の報告書、PCIJ判事・所長としての報告書や反対意見、さらには重要な書簡なども併せて、一冊に纏め著作集として刊行する。また、個々の資料を的確に位置づける解説を付すことにより、読者の理解を促す便宜を図る。

【主要目次】

第1章 法学・国際法学の研究

第2章 外務官僚・外交官

1. 駐伊臨時代理公使 / 2. アジアの諸地域を含む植民地をめぐる状況 / 3. ポーツマス会議 / 4. 横須賀捕獲審検所評定官 / 5. ロシア接伴報告書 / 6. メキシコ革命 / 7. ベルギー国の状況 / 8. フランス国の状況

第3章 国際連盟と世界情勢

1. パリ講和会議 / 2. 国際連盟での報告 / 3. 戦争損害賠償 / 4. ジェネーブ議定書 / 5. 万国国際法学会 / 6. 戦争違法化への流れ / 7. 大戦後の外交と国際連盟の役割

第4章 常設国際司法裁判所 (PCIJ)

1. PCIJの創設 / 2. PCIJへの期待 / 3. PCIJ裁判官選挙 / 4. PCIJ所長として / 5. PCIJ判決への反対意見 / 6. 満州事変 / 7. 日本連盟脱退とPCIJ / 8. PCIJ改革

第5章 随筆・小論など

第6章 解説 (柳原正治・三牧聖子)

Now
printing

ISBN978-4-13-036270-2
A5判 / 520頁
価格未定

▶既刊

柳原正治・篠原初枝 [編]

安達峰一郎

日本の外交官から世界の裁判官へ

ポーツマス会議では日本の国益を代弁する外交官として交渉に臨み、国際連盟では日本代表として会議の議長を務め、常設国際司法裁判所ではアジア人初の長官として正義の実現を目指した、安達峰一郎。知られざる真の国際人にさまざまな角度から光を当てた、第一級の論者が織り成す初の作品。

【主要目次】

第I部 安達峰一郎とその時代

第1章 安達峰一郎の生涯 (柳原正治)
第2章 安達峰一郎と国際協調外交の確立 (井上寿一)
第3章 安達峰一郎と日本の国際法学 (明石欽司)

第II部 安達峰一郎と欧米の国際秩序

第4章 安達峰一郎と戦間期ヨーロッパの協調 (牧野雅彦)
第5章 安達峰一郎とフランス——駐仏大使時代(1927-1930)に焦点をあてて (黒田俊郎)
第6章 安達峰一郎とアメリカ——日米協調のもう一つのシナリオ (三牧聖子)

第III部 安達峰一郎と国際連盟

第7章 戦間期日本と普遍的国際組織 (植木俊哉)
第8章 国際連盟理事会における安達峰一郎——「報告者」の役割 (篠原初枝)
第9章 安達峰一郎と国際連盟の判事選挙——国際社会における地位 (後藤春美)

第IV部 安達峰一郎と国際裁判

第10章 安達峰一郎と国際裁判制度 (李禎之)
第11章 安達峰一郎と国家間紛争の解決方式 (柳原正治)

関連略年表
安達峰一郎関連の一次史料 (柳原正治)



ISBN978-4-13-036259-7
2017年2月刊
A5判 / 296頁
税込4,860円 (本体4,500円)